

<進路選択と高校受験について その5>

②学力検査（学科試験）の得点＝学力点 について

公立高校の学力検査は令和4年度（2022年度）、3年前の入試から変更になっています。

事項	令和4年度入試から	令和3年度入試まで
学力検査問題	全ての生徒が同一問題を解答	学校裁量問題選択校に出願した生徒のみ学校裁量問題を解答
得点	各教科100点、計500点満点	各教科60点満点、計300点満点
解答時間	各教科50分	各教科45分
英語の聞き取りテスト	配点は、全体の30～35%程度 英文が2回読まれる問題と1回しか読まれない問題を出题	配点は、全体の25% 英文が読まれる回数は2回
解答用紙	A3判	B4判
実技など	各高校の裁量で、面接、実技を実施	各高校の裁量で、面接、実技、作文を実施

学力検査での得点が学力点と言われ、上から20点ずつに区切って25段階に区分します。

段階	1	2	3	4	5	6	7	8	...	22	23	24	25
学力点	500 ～ 481	480 ～ 461	460 ～ 441	440 ～ 421	420 ～ 401	400 ～ 381	380 ～ 361	360 ～ 341	...	80 ～ 61	60 ～ 41	40 ～ 21	20 ～ 0

- ▶ 一般に、学力点については段階で表現されるよりも「△△高校は〇〇点くらい必要」と直接の点数で言われることが多いようです。裏面の関連図で使われる場合には段階で表すことがあります。
- ▶ この学力点（入試の学科試験の得点）の予想を立てるために、9月からの学力テスト総合A～Cでの得点を参考にします。実際の出願にあたっては、過去の統計や本人の得点の推移など合わせ、家庭学習への取り組みの様子や本人の性格など、さまざまな方向から考えて当日の予想をしていくことになります。



→裏に続きます。

③学習点と学力点の相関について

高校によって多少の違いはありますが、合否の判定にあたって、学習点・学力点の関係を見る下の図のような「相関表」が使われている場合があるようです。ただし、これは点数として表れる部分のことだけです。その他、調査書の項目についての判断や、面接試験の結果などは見えていないことなので注意が必要です。

	段階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ランク	学力点	500	480	460	440	420	400	380	360	340	320	300	280	260	240
	学習点	~481	~461	~441	~421	~401	~381	~361	~341	~321	~301	~281	~261	~241	~221
A	315 ~296														
B	295 ~276														
C	275 ~256														

▶基本的に、**学習点と学力点を同等に見て選抜**する（定員の70%程度）ことになっていますが、

- ・「**複数尺度**」——個人調査書の内容（評定・学習点等）を重視する、もしくは、学力検査の成績を重視する、いずれの選抜のしかたも定員のそれぞれ15%程度行うことができる。
- ・「**傾斜配点**」——学力検査で、特定の教科の配点に比重をかけて見ることができる。
- ・「**英語の聞き取りテスト**」「**実技**」などの試験も実施できる、個人調査書の評定以外に重視する項目を決めることができる。

などについての、「**学校裁量**」の部分もあり、これらについては前述の「**学校裁量についての実施予定一覧**」にまとめられています。

<注意>

上記のこと以外にも、推薦でどのくらいの生徒を合格させるのかなど、選抜（合否判定）にはたくさんの複雑な要素が関係してきます。各高校の説明会に参加して説明を聞いたり、過去のデータをよく調べたりするなど、出願するにあたってはいろいろな角度から合格の可能性について検討してみる必要があります。

しかし、どんなに検討したところで、実際にどのくらいの人数が出願してくるか（倍率）ということや、当日の学力検査の難しさがどの程度になるかなど、さまざまな不確定の要素は残ります。最終的には、自信をもって自分の力をしっかり発揮できるように準備を整えていくことがもっとも重要なこととなります。これからの教育相談や懇談の中では、点数面でのことだけでなく、広い視野からさまざまな可能性について検討していくように相談を深めていってください。

④あなたの学習点はどのくらい？

「進路だより15号」で、現時点でのあなたの学習点がどのくらいなのかを調べてもらいましたが、計算の仕方はわかりましたか？ 学習点は何点で、何ランクになりましたか？

今回は2年生までの成績を使って算出した、あくまでも仮の学習点ですが、今後の進路に対する見通しをもつ意味でひとつの基準になるものです。まだ調べていない人は、自分の学習点とランクをぜひ確認しておいてください。